

おとしよりを大切に

9月15日は敬老の日

9月15日は国民の祝日「敬老の日」です。老人福祉法でも長い間社会の進展に尽してきた老人を敬愛し、健康な生活を保障するものとあります。

富士市では9月15日を中心に、社会福祉協議会、婦人会、町内会の協力で敬老会を地区ごとに開き、70歳以上のおとしよりの長寿を祝います。

なお全員に記念品が贈られますが、ことし70歳になつたおとしよりには、健康記録や生活記録が書きこめる老人福祉手帳。88歳になつたおとしよりには、肖像画と県知事から米寿のお祝いとして木杯が贈られます。

ことしは70歳以上のおとしよりが、5770人（男2376人、女3394人）です。このうち80歳以上が1247人、90歳以上の人95名もいます。最年長者は97歳の古郡くまさん（中島上）です。

おとしよりに健康で明るい生活を送ってもらうために、市では老人健康調査や老人家庭奉仕員の派遣、老人クラブ活動の奨励などを行なっています。

■老人健康調査

一般診査と訪問診査があります。一般診査の対象者には、すでに福祉事務所から通知書と診査記録票を送りましたので9月15日から9月30日までの間に、お近くの指定病院で受診してください。

訪問診査は65歳以上のつねに寝たきりの老人で、申し出のあつた家庭へ往診します。担当は福祉事務所保護係。

■特殊ベッドの貸し出し

自分で食事をとつたり、入浴したり、

便所へ行くこともできないつねに寝たきりで、人の看護を受けているおとしよりに特殊ベッドの貸し出しを無料で行なっています。担当は福祉事務所保護係。

■高齢者の職業あつ旋

60歳以上のおとしよりで、仕事を求めている人にあつ旋しています。担当は社会福祉協議会事務局（福祉事務所内）。

■老人家庭奉仕員

現在おとしよりの世話をしている奉仕員は4人。60歳以上のおとしよりの世帯を回り、洗濯、すい事、ぬい物などから身の回りの世話をしています。担当は社会福祉協議会事務局（福祉事務所内）

■老人クラブ活動

市内に157の老人クラブがあり、60歳以上のおとしより8424人が会員になっています。

各クラブともリクレーションや奉仕活動、勉強会などを開いたり、ほかのクラブとの交流をはかっています。

市でも講演会や研修会を開き、指導者養成を行なっています。担当は福祉事務所社会係。

施設めぐりで勉強会

…すでに900人が参加…

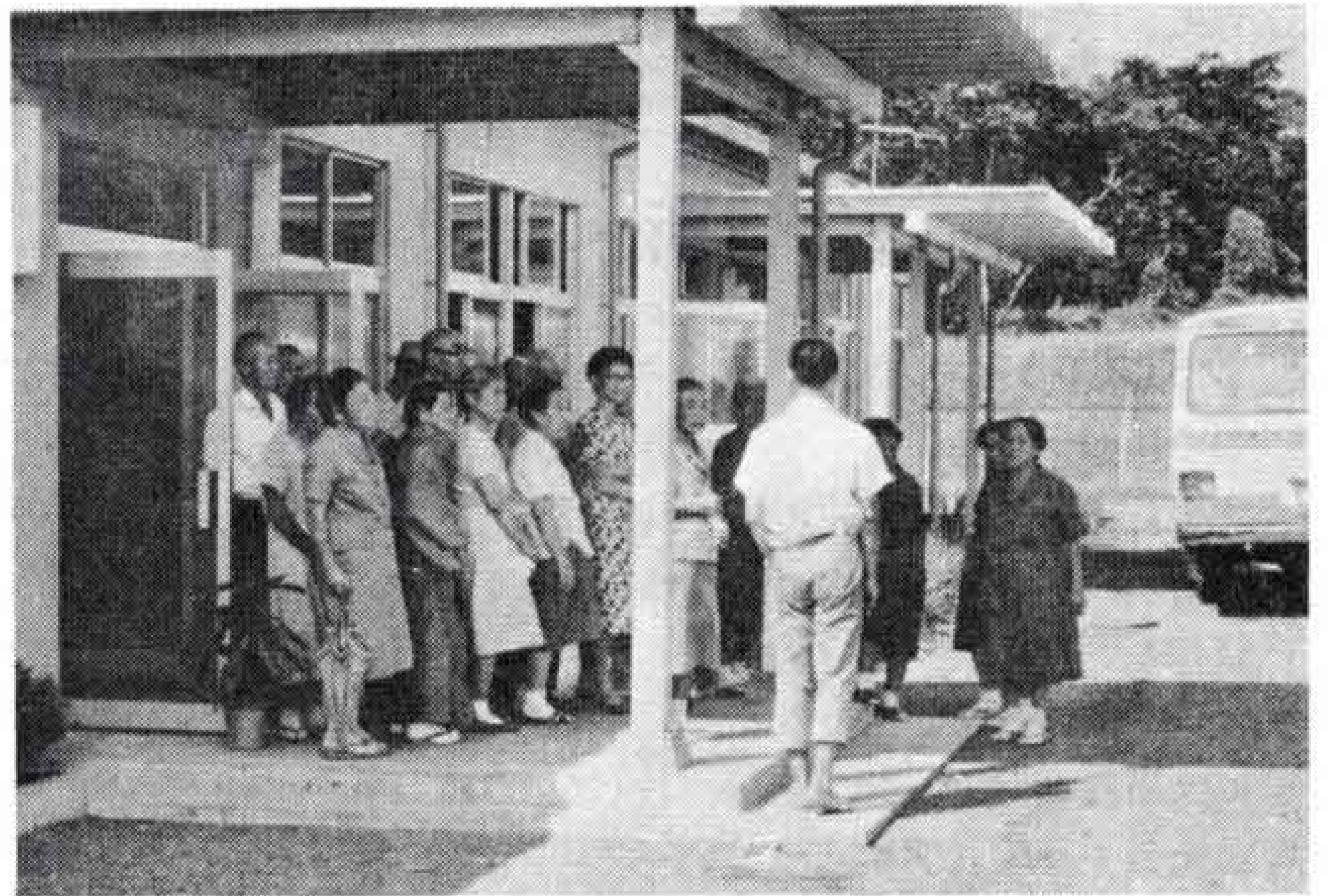
「自分たちの住んでいる町を知ろう」と、老人クラブや婦人会の人たちは「施設見学」で勉強会。ことしになつて市役所の「施設めぐり」に参加した人は900人。

庁舎、ふじやま学園、勤労青少年会館、岳南食肉センターなど市の施設を見たり説明を受けて猛勉強。見学に参加した人たちは「いままで自分たちの税金で、市がどういう仕事をしているかよく知らない、いろいろな施設を見ては

じめてわかつた。」「田子の浦港のヘドロも実際に見てあらためてひどいのがわかつた。」など、いろいろな意見がだされ、勉強の成果は十分。

なお、施設めぐりの申込みは市役所企画調整部広報課（電話 51-0123 内線527~529）です。申込みをする場合は代表者が電話、あるいは直接来庁してください。

【林町老人クラブの施設めぐり】



10月1日は国勢調査の日です。9月24日から国勢調査員がみなさんのお宅を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、ご協力ください。

調査する項目は家族構成、家計の収入の種類、従業地または通学地など24項目です。